



赤い陽の村 越後瞽女 油彩 S M



陽の雪原 越後瞽女日記 油彩 S M



みぞれ 銅版 画寸 40x30



雪国・陽 銅版 画寸 39x28



日傘リトグラフ 画寸 45x35



桜花 木版 画寸 36x28



越後路の旅
銅版 画寸 30x40



赤い陽の村
リトグラフ 画寸 29x40



赤い太陽
リトグラフ 画寸 34.5x45.5



赤いスカーフの女
リトグラフ 画寸 45.5x35



向島の女
銅版 画寸 41x31.5



赤い舞台リトグラフ 画寸 45x35

孤独な魂のさすらい
齋藤真一



1922年岡山県味野に生まれる。
1948年東京美術学校卒業。日展初入選。
1959年パリのグラン・ショミエールに学ぶ。藤田嗣治と親交。
1970年越後瞽女日記展。
1971年安井賞佳作賞受賞。
1973年「瞽女=盲目の旅芸人」にて、日本エッセイストクラブ賞を受ける。
1982年紺綬褒章受章。
1993年山形県天童市出羽桜美術館分館 齋藤真一心の美術館開館。
1994年膵臓癌により死去。

版画は全て、
自筆サイン・印・限定